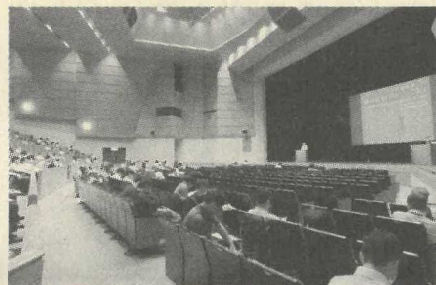


コンクリートメンテナンス協

約400人が長寿命化への事例学ぶ

仙台でフォーラム2024

コンクリートメンテナンス協会（徳納剛会長）は1日、「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2024」を「持続可能な未来を築くための実践的アプローチ」を仙台市の仙台国際センターで開いた。約400人が参加し、



構造物長寿命化に向けた最新事例などを学んだ。

冒頭、徳納会長は「コン

クリートは二酸化炭素を多く排出することから、建設分野におけるカーボンニュートラルへの取り組みは喫緊の課題となっている。コンクリート構造物の維持管理分野に目を向けると、インフラ長寿命化計画に基づいた点検、調査、補

修のメンテナンスサイクルが定着しつつあり、ますます重要度が高まっている。今年のフォーラムではコンクリート構造物の維持管理業務に携わる技術者の皆さまに光明になる内容を提供できるように努めていく」と話した。

このフォーラムはコンクリート構造物の健康寿命を延ばすための維持管理の考え方、調査点検技術、補修・補強技術に関する実践的な内容を具体的に紹介するもの。土木学会認定のCPDプログラムとなっている。今年には①コンクリートの劣化機構を理解して維持管理に活かすⅡ江良和徳氏（コンクリートメンテナンス協

会技術委員長）②電気防食技術と施工実例の紹介Ⅱ鹿島篤志氏（CPE工法研究会、エルガード協会）③亜硝酸リチウム設計・施工指針（案）の解説と活用Ⅱ江良和徳氏④持続可能なコンクリート構造物を可能とする非破壊検査・点検技術Ⅱ真鍋英規氏（CORE技術研究所）⑤持続可能な未来を築くJ-ティフコムⅡ三田村浩氏（J-ティフコム施工協会）がそれぞれ講演した。

なお、東北では9月26日に秋田市で「秋田ミニフォーラム」を開催する。会場は秋田市にぎわい交流館AU（あう）多目的ホールで、定員は250人。

鹿島東北支店

優良賞に4件

